

令和8年度 学校要覧

富山県立
雄峰
高等学校
県民カレッジ
富山地区
センター
→



富山県立雄峰高等学校

こんな姿を目指します

- 自ら学び考えながら、自分の夢に向かって努力していく姿勢
- 周りの人たちと協働・共生していく姿勢
- 自ら判断し、たくましく生きていく力



学校概観

教育目標

豊かな個性と豊かな心を持ち、生涯にわたって自ら学び考えながら自己実現に努め、社会の変化に対応して逞しく生きる人間の育成を目指す。

沿革概要

昭和 4年5月15日 私立富山中等夜学校開校
 12・2・5 県教育会理事会にて県立移管を議決
 12・4・1 県立富山夜間中学として創立、県立神通中学校に併設
 18・4・1 県立雄峰中学校と改称
 22・9・22 創校 10 周年記念式典挙行
 23・4・1 県立雄峰高等学校（夜間定時制）と改称、県立富山中中部高校に併設
 28・4・1 通信教育併置（呉東・呉西地区統合）
 33・4・15 完全給食実施（夜間定時制）
 34・4・1 集団学級設置（通信制）
 38・7・14 荒木万寿夫文部大臣来校
 41・3・26 独立新校舎に移転（富山市赤江町 1-45）
 42・2・26 校舎新築落成式、創校 30 周年記念式典挙行
 43・4・1 昼間定時制設置
 44・4・1 通信制集団学級を通信制集団学級（10）と、昼間定時制教場（9）に再編成
 44・10・19 坂田道太文部大臣来校
 45・4・1 本校の組織を夜間定時制、昼間定時制、通信制の三課程に改編
 吉田教場を生地分校に改称昇格
 47・7・2 創校 35 周年記念式典挙行
 48・3・20 増築校舎（格技場、食堂、家庭経営保育実習室、商業実習室）竣工
 48・10・1 専攻科「保育科」設置
 49・4・1 南砺分校設置（砺波地区定通課程統廃合）
 52・10・9 創校 40 周年記念式典挙行
 58・4・1 大沢野分校校舎独立
 60・4・1 専攻科「生活科学科」に改称

61・4・1 聴講制度開講（夜間定時制）
 62・10・4 創校 50 周年記念式典挙行
 平成 元年 4 月 1 日 昼間定時制に普通科設置
 2・3・31 生地分校閉校
 3・4・1 専攻科に調理師養成課程設置
 4・4・1 昼間定時制に単位制導入
 5・10・12 管理教室棟外壁及び窓枠改修
 8・2・19 校内リフレッシュ工事（本館棟及び格技場内部改修）
 8・4・1 昼間定時制家政科、通信制家政科が「生活文化科」と改称
 9・10・19 創校 60 周年記念式典挙行・記念誌『雄峰高 60 年史』刊行
 9・11・3 富山県教育功労優良学校表彰受賞
 10・4・1 夜間定時制に単位制導入
 11・10・21 日本赤十字社金色有功章受賞
 13・4・1 昼間単位制普通科にⅡ部制導入、定時制課程Ⅲ部制成立
 大沢野分校閉校
 南砺分校閉校
 通信制に単位制導入
 創校 70 周年記念式典挙行
 移転新校舎起工（現在地）
 専攻科保育コース廃止
 新校舎に移転（現在地）
 新校舎竣工式・県生涯学習カレッジ富山地区センター開所式挙行
 グラウンド改修
 通信制生活文化科廃止
 創校 80 周年記念式典挙行
 普通教室全室に空調設置
 夜間「情報ビジネス科」を「総合ビジネス科」に改称
 特別教室（物理・生物・化学室）に空調設置
 特別教室（被服・家庭経営・美術室）に空調設置
 令和 2・4・24 4・4・1 6・3・22 7・3・19

教職員構成

	長	1	昼間単位制	夜間単位制	通信制	専攻科	事務部	小 計
校 長	頭	1						1
教 諭			2	1	1	1		5
教 諭			23	11	16	5		55
再 任 用 教 諭			11	2	2			15
養 護 教 諭			1	1				2
実 習 教 諭・実 習 助 手			2					2
外 国 語 指 導 助 手			1					1
臨 時 的 任 用 講 師			4	3		1		8
非 常 勤 講 師			6	5	5	41		57
副 主 幹・事 務 長							1	1
事 務 職 員							4	4
校 務 助 手							2	2
栄 養 士				1				1
業 務 補 助 員							3	3
施 設 管 理 員							3	3
学 校 医 等							5	5
合 計		1	50	24	24	48	18	165

学級編成

■昼間単位制課程

学 科	年次・男女別生徒数															クラス数					備 考
	1 年次			2 年次			3 年次			4 年次			合 計			1年次	2年次	3年次	4年次	合 計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
普 通	27	40	67	52	62	114	37	44	81	15	25	40	131	171	302	4	5	4	2	15	
生活文化	2	9	11	2	17	19	1	12	13	0	1	1	5	39	44	1	1	1	1	4	
合 計	29	49	78	54	79	133	38	56	94	15	26	41	136	210	346	5	6	5	3	19	

■夜間単位制課程

学 科	年次・男女別生徒数															クラス数					備 考
	1 年次			2 年次			3 年次			4 年次			合 計			1年次	2年次	3年次	4年次	合計	
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計						
普 通	4	2	6	3	5	8	4	6	10	4	2	6	15	15	30	2	2	2	2	8	
総合ビジネス	1	2	3	1	4	5	1	0	1	0	1	1	3	7	10	1	1	1	1	4	
合 計	5	4	9	4	9	13	5	6	11	4	3	7	18	22	40	3	3	3	3	12	

■通信制課程

学科・協力校			1 年次			2 年次			3 年次			4 年次			合 計			クラス数					備 考
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次	合 計	
本 校	普 通		23	30	53	26	49	75	23	41	64	23	55	78	95	175	270	3	3	3	3	12	看護科目は技能連携による (2 年次まで)
	衛生看護	富医	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	/	/	0	0	0	1	1	1	/	3	
	合 計		23	30	53	26	49	75	23	41	64	23	55	78	95	175	270	4	4	4	3	15	
協力校※定通併修	新 川 みどり野	普 通	0	0	0	3	12	15	1	4	5	2	2	4	6	18	24	1	1	1	1	4	
		福祉教養	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	4	
	となみ野	普 通	0	0	0	1	2	3	1	1	2	0	0	0	2	3	5	1	1	1	1	4	
		総合福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4	
	合 計		0	0	0	4	15	19	2	5	7	2	2	4	8	22	30	4	4	4	4	16	

■専攻科

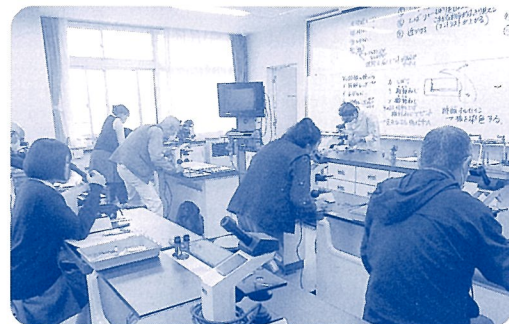
学科・コース			学年・男女別生徒数									クラス数			備考
			1 年			2 年			合 計			1 年	2 年	合計	
			男	女	計	男	女	計	男	女	計				
生活科学	調理師養成課程	午前部	8	14	22	6	13	19	14	27	41	1	1	2	
		午後部	1	3	4	3	3	6	4	6	10	1	1	2	
合 計			9	17	26	9	16	25	18	33	51	2	2	4	

授業形態

■ 昼間単位制Ⅰ部・Ⅱ部

週 区 分		毎 週	
Ⅰ 部	普 通 科	8:55 ～ 12:25 ただし木曜日は 14:10 まで	
	生活文化科		
Ⅱ 部	普 通 科	月・火・水・金	10:45 ～ 15:05
		木	8:55 ～ 14:10

* 指定の木曜日 14:20 ～ 16:05 に定通併修スクーリングを受けることができる。
* 他部・他課程の授業を受けることができる。



共学講座（昼間単位制）

■ 夜間単位制

週 区 分		毎 週				
曜 日		月	火	水	木	金
普 通 科 総合ビジネス科	17:45 ～ 21:00	○		○	○	○
	17:30 ～ 21:10		○			

* 給食 16:50 ～ 始業 5 分前
* 火曜日は HR（19:00 ～ 19:40）を実施する。
* 月、水、木、金は 0 時限（16:15 ～ 17:00）を実施する。
* 指定の木曜日 14:20 ～ 16:05 に定通併修スクーリングを受けることができる。
* 希望により昼間単位制 5・6 時限の授業を受けることができる。



HR 活動【七夕を飾ろう】（夜間単位制）

■ 通信制

週 区 分		週あたりの授業構成					
曜 日		日	月	火	水	木	金
普 通 科	8:55 ～ 16:05	○	○		○		
衛 生 看 護 科	8:55 ～ 16:05	○					
定 通 併 修	14:20 ～ 16:05					○	

* スクーリングは年 18 回である。標準出校日数は年 25 日程度である。
* 衛生看護科は、富山市医師会看護専門学校と一部科目を技能連携している。



部活動 全国大会（通信制）

■ 専攻科

週 区 分		毎 週	
生活科学科 （調理師養成課程）	午前部	8:35 ～ 12:25	
	午後部	13:10 ～ 17:00	



調理実習「西洋料理」（専攻科）

◎必履修科目 ○選択必履修科目 ◆学校設定教科 ●学校設定科目

主として専門学科において開設される各教科

※ この他に他部受講（夜間単位制）・定通併修・高卒程度認定試験合格などにより単位修得ができる。（一定の条件あり）

■夜間単位制（普通科・総合ビジネス科） 令和8年度入学生…1年次

◎必修科目 ○選択必修科目 ◆学校設定教科 ●学校設定科目

教 科	科 目	標 準 単 位 数	夜間単位制	合 計 単 位 数	備 考 ◎必修科目 ○選択必修科目 ◆学校設定教科 ●学校設定科目
各学科に共通する各教科	国 語	◎ 現代の国語	2	2	・「国語表現」「文学国語」「楽しむ古典」は「現代の国語」及び「言語文化」の履修後に履修する。
		◎ 言語文化	2	2	
		文学国語	4	0・4	
		国語表現	4	0・4	
		● 日本語を学ぼう	2	0・2	
		● 楽しむ古典	2	0・2	
	地 理 史	◎ 地理総合	2	2	・「地理総合」と「地理探究」「歴史総合」と「日本史探究」及び「世界史探究」の並行履修は不可。 ・「地理総合」の履修後に「地理探究」を履修する。 ・「歴史総合」の履修後に「日本史探究」及び「世界史探究」を履修する。
		地理探究	3	0・4	
		◎ 歴史総合	2	2	
		日本史探究	3	0・4	
		世界史探究	3	0・4	
		● 世界の国々	2	0・2	
		● 富山の歴史	2	0・2	
		◎ 公共	2	2	
	公 民	倫理	2	0・2	・「公共」は入学年次及びその次の年次の2か年で履修する。 ・「倫理」及び「政治・経済」は「公共」の履修後に履修する。
		政治・経済	2	0・2	
		● 時事問題	2	0・2	
		◎ 数学Ⅰ	3	4	
	数 学	数学Ⅱ	4	0・4	※「数学入門」「数学Ⅱ」は普通科のみ受講可能。 ・「数学A」は「数学Ⅰ」と並行あるいは「数学Ⅰ」の履修後に履修する。 ・「数学B」及び「数学C」は「数学Ⅰ」履修後に履修する。 ・「数学A」「数学B」「数学C」の履修順は定めない。
		数学A	2	0・2	
		数学B	2	0・2	
		数学C	2	0・2	
		● 数学入門	2	0・2	
		○ 科学と人間生活	2	0・2	
	理 科	○ 物理基礎	2	0・2	・選択必修は「科学と人間生活」と「基礎を付した科目」を1科目又は「基礎を付した科目」を3科目。 ・「物理基礎探究」は「物理基礎」履修後に履修する。 ・「化学基礎探究」は「化学基礎」履修後に履修する。 ・「生物基礎探究」は「生物基礎」履修後に履修する。
		○ 化学基礎	2	0・2	
		○ 生物基礎	2	0・2	
		○ 地学基礎	2	0・2	
		● 科学実践	2	0・2	
		● 物理基礎探究	2	0・2	
		● 化学基礎探究	2	0・2	
		● 生物基礎探究	2	0・2	
		● 環境の科学	1	0・1	
		保 健 育	◎ 体育	7～8	
	◎ 保健		2	1・1	
	芸 術	○ 音楽Ⅰ	2	0・2	・○1科目必修。
		○ 美術Ⅰ	2	0・2	
		○ 書道Ⅰ	2	0・2	
		● ペン習字	2	0・2	
		● 演奏を楽しむ	2	0・2	
		● 絵本を作ろう	2	0・2	
	外国語	◎ 英語コミュニケーションⅠ	3	4	※「英語入門」は、普通科のみ受講可能。 ・「英語コミュニケーションⅡ」は「英語コミュニケーションⅠ」を履修後に履修する。 ・「論理・表現Ⅰ」及び「ビジネス英語初級」は原則として「英語コミュニケーションⅠ」を履修後に履修する。
		英語コミュニケーションⅡ	4	0・4	
		論理・表現Ⅰ	2	0・2	
		● 英語入門	2	0・2	
		● ビジネス英語初級	2	0・2	
	家 庭	◎ 家庭総合	4	0・4	・「家庭総合」は他の課程での履修可。
		◎ 家庭基礎	2	0・2	
	情 報	◎ 情報Ⅰ	2	2	
	キャリア	● ライフ＆ワークA	1	0・1	・「ライフ＆ワークA」「ライフ＆ワークB」「ライフ＆ワークC」は職業科目として実務代替（増加単位）可。 ・学校外の学修
		● ライフ＆ワークB	1	0・1	
		● ライフ＆ワークC	1	0・1	
● ボランティア活動		1・1	0・1・2		
主として専門学科において開設される各教科	商 業	◎ ビジネス基礎	2～4	2	※「ビジネス基礎」「課題研究」「マーケティング」「ビジネス・マネジメント」「情報処理」「ソフトウェア活用」は総合ビジネス科のみ受講可能。 ・「ソフトウェア活用」は「情報処理」履修後に履修。 ・「ビジネス実践A」は「ビジネススキルA」履修後もしくは並行履修。 ・「ビジネス実践B」は「ビジネススキルB」履修後もしくは並行履修。 ・「簿記」を履修後に「ビジネススキルC」の受講は不可。 ・「ビジネス基礎」「課題研究」「マーケティング」「ビジネス実践A」「ビジネス実践B」は実務代替（増加単位）可。
		◎ 課題研究	2～6	2・4	
		マーケティング	2～4	0・2	
		ビジネス・マネジメント	2～4	0・2	
		ビジネス法規	2～4	0・2	
		簿記	2～4	0・4	
		情報処理	2～6	0・2	
		ソフトウェア活用	2～6	0・4	
		● ビジネススキルA	2	0・2	
		● ビジネススキルB	2	0・2	
		● ビジネススキルC	2	0・2	
		● ビジネス実践A	1	0・1	
		● ビジネス実践B	1	0・1	
	家 庭	保育基礎	2～6	0・2	・「保育基礎」「フードデザイン」は学校外の学修による増加単位可。
		フードデザイン	2～7	0・2	
	総合的な探究の時間 （ライフデザイン）		3～6	1・1・1・1・1・1	0～6
単 位 数 計			74～	74～	
ホームルーム活動			1・1・1・1	3～4	
週当たり授業時数			21	－	

※ 本校へ転入学・編入学した生徒については、前籍校の教育課程も考慮し卒業認定を行う。

※ この他に他部受講（昼間単位制）・通定併修・高卒程度認定試験合格などにより単位修得ができる。（一定の条件あり）

教育課程

■通信制（普通科・衛生看護科） 令和8年度入学生…1年次

教科	科目	標準 単位数	1年次～4年次	合計 単位数	備考
					◎必修科目 ◆学校設定教科 ○選択必修科目 ●学校設定科目
各学科に共通する各教科	国語	◎ 現代の国語	2	2	・選択科目は「現代の国語」及び「言語文化」の履修後に履修する。
		◎ 言語文化	2	2	
		論理国語	4	4	
		文学国語	4	4	
		国語表現	4	4	
		古典探究	4	4	
		● 高校国語入門		2・2	
		● 郷土文学に親しむA		2	
	地理歴史	● 郷土文学に親しむB		2	・「地理総合」の履修後に「地理探究」を履修する。 ・「歴史総合」の履修後に「日本史探究」及び「世界史探究」を履修する。
		◎ 地理総合	2	2	
		地理探究	3	4	
		◎ 歴史総合	2	2	
		日本史探究	3	4	
	公民	世界史探究	3	4	・「公共」の履修後に「倫理」「政治・経済」を履修する。 ・「公共」は入学年次及びその次の年次の2カ年の間に履修する。
		◎ 公共	2	2	
		倫理	2	2	
	数学	政治・経済	2	2	・「公共」の履修後に「倫理」「政治・経済」を履修する。 ・「公共」は入学年次及びその次の年次の2カ年の間に履修する。
		◎ 数学Ⅰ	3	4	
		数学Ⅱ	4	4	
		数学A	2	2	
		数学B	2	2	
		数学C	2	2	
		● 高校数学入門		2・2	
	理科	● 数学探究		2	・Ⅱを付した科目はⅠを付した科目を履修した後に履修する。 ・「数学B」、「数学C」は「数学Ⅰ」の履修後に履修する。
		○ 科学と人間生活	2	2	
		○ 物理基礎	2	2	
		物理	4	4	
		○ 化学基礎	2	2	
		化学	4	4	
		○ 生物基礎	2	2	
		生物	4	4	
	保健体育	● よくわかる最新の科学A		2	・「科学と人間生活」と「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」から1科目、又は「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」の3科目必修 ・「物理」「化学」「生物」については、それぞれに対応する基礎を付した科目を履修した後に履修する。
		◎ 体育	7～8	1・1・1・1・1・1・1・1	
	芸術	◎ 保健	2	1・1	・「体育」は7単位必修 ・「保健」は原則入学年次およびその次の年次で1単位ずつ履修する。
		○ 音楽Ⅰ	2	2	
		音楽Ⅱ	2	2	
		● 音楽探究A		2	
		● 音楽探究B		2	
		○ 美術Ⅰ	2	2	
		美術Ⅱ	2	2	
		○ 書道Ⅰ	2	2	
		書道Ⅱ	2	2	
		◎ 英語コミュニケーションⅠ	3	4	
	外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	4	・Ⅱを付した科目はⅠを付した科目を履修した後に履修する。
		論理・表現Ⅰ	2	2	
		● 高校英語入門		2・2	
		● 初級英会話		2	
	家庭情報	◎ 家庭総合	4	4	・Ⅱを付した科目はⅠを付した科目を履修した後に履修する。
		◎ 情報Ⅰ	2	2	
	◆キャリア	● キャリア基礎		2	・○1科目必修 ・Ⅱを付した科目はⅠを付した科目を履修した後に履修する。
		● キャリア応用		2	
主として専門学科において開設される各教科	商業	ビジネス基礎	2～4	2・2	・Ⅱを付した科目はⅠを付した科目を履修した後に履修する。
		簿記	2～4	2・2	
		保育基礎	2～6	2	
	家庭	フードデザイン	2～7	4	・Ⅱを付した科目はⅠを付した科目を履修した後に履修する。
		● ハンドメイド		2	
	看護	△ 基礎看護	2～12	4	・△技能連携科目 ・技能連携施設は、富山市医師会看護専門学校看護学科である。
		△ 人体の構造と機能	2～7	2	
		△ 疾病の成り立ちと回復の促進	2～8	2	
		△ 健康支援と社会保障制度	2～7	2	
		△ 成人看護	2～6	2	
		△ 老年看護	2～4	2	
		△ 精神看護	2～4	2	
		△ 看護臨床実習	2～21	10	
	総合的な探究の時間 (学び方・考え方の探究)		3～6	1・2・2・2	・3単位必修
	単位数計			74～	
	特別活動			ホームルーム活動を含め40時間以上	

※本校へ転入学、編入学した生徒については、前籍校の教育課程も考慮し卒業認定を行う。

※特別な事情に限り、校長の許可により、他課程の科目を履修することができる。

■専攻科 (生活科学科 調理師養成課程) 令和8年度入学生…1年次

教科目	食生活と健康	食品の安全と衛生	食品と栄養の特性	調理理論と食文化概論	調理実習	総合調理実習	プロ調理基礎演習	調理師と社会	計
単位数	3	5	5	6	10	3	1	2	35

学校行事

	昼間単位制	夜間単位制	通 信 制	専 攻 科
4 月	入学式			
5 月			前期進路教室(就職)	特別講話
6 月	県定通体育大会 県定通陸上競技大会			
7 月		ミニススポーツ大会	校内生活体験発表会 球技大会(ボウリング)	就職セミナー
	全国高総文祭			校外実習(2年)
8 月	全国定通体育大会 進路研修(進学)			
9 月	校内生活体験発表会 遠足	校外学習(遠足)	中部地区生活体験発表会	校外学習(1年) 金沢研修(2年)
	前期卒業式			
				海外研修旅行(隔年)
10月	後期入学式 県生活体験発表大会 北信越定通総体 学園祭			フレンチレストラン
11月	富山県高文祭 学びの体験オープンハイスクール			
12月			後期進路教室(進学) 読書会	
1 月		課題研究発表会(総合ビジネス科)		
2 月	課題研究発表会(生活文化科) 球技大会	校内生活体験発表会 スポーツ大会(ボウリング)		調理技術発表会 校外学習(1年)
3 月	卒業式			

部活動

昼間単位制	夜間単位制	通 信 制
バスケットボール 陸上競技 バレーボール 卓球 バドミントン 柔道 剣道 軟式野球 写真 美術・イラスト 演劇 茶道 英会話 日本音楽 家庭(同好会) 囲碁・将棋(同好会) ダンス(同好会)	バスケットボール バレーボール 卓球 柔道 剣道 バドミントン 陸上競技 軟式野球 ビジネス実践 新聞 軽音楽 写真・美術イラスト ゴスペル(同好会)	陸上競技 卓球 球技 軟式野球 柔道・剣道 バドミントン 生活研究 文化研究



第15回海外研修旅行
「シンガポールにて」(専攻科)

学費・特典

	昼間単位制	夜間単位制	通 信 制	専 攻 科
授業料	年額 1単位あたり1,620円		年額 1単位あたり300円	年額 118,800円
	・高等学校等就学支援金受給認定者は無償			
入学料	2,100円	2,100円	なし	5,650円
諸経費	年額 約14,000円	年額 約79,000円 (給食費約66,000円含む)	年額 約14,000円	教材・実習費等 年額 約105,000円
	教科書・学習書代 約5,000円～9,000円 (入学時)制服・体操服代 昼間:約80,000円 夜間:約56,000円(制服・体操服は希望者のみ購入) タブレット代 約60,000円(該当者に補助制度あり)		教科書・学習書代 年額約8,000～18,000円	教科書代・厨房着・包丁一式他 約80,000円
特典	定時制教科書及び通信制教科書学習書無償給与(有職者)			
		給食費補助 〔有職者かつ授業料 免除対象者に準ずる者〕	第4種郵便適用	修学支援金制度有 授業料減免制度有
	各種奨学金制度 所得税勤労学生控除			

生徒の実態

地区別・出身中学校別生徒数

地区	中学校	昼単	夜単	通信
下新川郡	朝 日			1
	入 善		1	8
	入 善 西	3		2
黒部市	宇 奈 月			
	清 明	2		1
	明 峰	3		6
魚津市	桜 井			
	西 部	9		4
	東 部	2		3
滑川市	滑 川	8	1	6
	早 月	6		3
中新川郡	上 市	3		1
	雄 山	7	2	11
	舟 橋	3		
富山市	芝 園	8		5
	堀 川	24	4	9
	東 部	7		3
	西 部	10		6
	南 部	22		3
	北 部	13	2	9
	松 風 分 校			
	新 庄	19	3	7
	岩 瀬	5		4
	山 室	15	1	5
	奥 田	26	1	12
	大 泉	4	2	3
	和 合	7	1	3
	月 岡	6	2	1
	呉 羽	10	1	3
	水 橋	4	1	5
	三 成	1		1
	興 南	13	2	4
	藤 ノ 木	10	2	7
	大 沢 野	21	2	2
	上 滝	3	1	4
	速 星	20	4	15
	城 山	3	1	
	山 田	1		
	八 尾	13	4	10
	杉 原			
	檜 原	1		
	富 山 大 学 附 属			1
	高 志 支 援			
	富 山 聴 覚 総 合 支 援			
	ふ る さ と 支 援	2		2
	片 山 学 園			1

地区	中学校	昼単	夜単	通信
射水市	新 湊	1		7
	新 湊 南 部		1	
	射 北	4		7
	小 杉	3		1
	小 杉 南	7		4
	大 門	5		7
高岡市	高 陵			
	高 岡 西 部	1		3
	南 星	1		3
	志 貴 野	1		9
	芳 野	1		5
	伏 木			2
	五 位			2
	戸 出	1		6
	中 田			1
	牧 野			1
	福 岡			3
	国 吉 義 務 教 育			
氷見市	南 部			3
	北 部			3
	十 三			2
	西 條			4
小矢部市	西の杜学園義務教育			
	石 動			
	大 谷			1
砺波市	津 沢			
	蟹 谷			1
	出 町			7
	庄 西	2		4
南砺市	般 若			1
	庄 川			3
	城 端			2
	平			
	利 賀			
	井 波			
	井 口			
	福 野			3
	福 光			
	吉 江			1
その他	南砺つばき義務教育			
	県外	4	1	3
	海外	1		
	その他			
計		346	40	270

進路状況

		昼単	夜単	通信	合計
進 学	卒 業 者 数	94	13	67	174
	大 学	13	2	12	27
	短 大	5	0	4	9
	専門・各種学校	33	1	9	43
	看護学校	4	1	0	5
	高校専攻科	4	0	1	5
	小 計	59	4	26	89
就 職	就 職	23	2	18	43
	現 職 の 継 続	0	1	7	8
	小 計	23	3	25	51
そ の 他		12	6	16	34

		専攻科
卒	業 者 数	21
就職	専 門 分 野	17
	専 門 分 野 外	1
	現 職 の 継 続	0
進	学	1
そ	の 他	2



校歌

作詞 山森利栄

作曲 渡辺賢之

一、靈峰太刀の精宿し

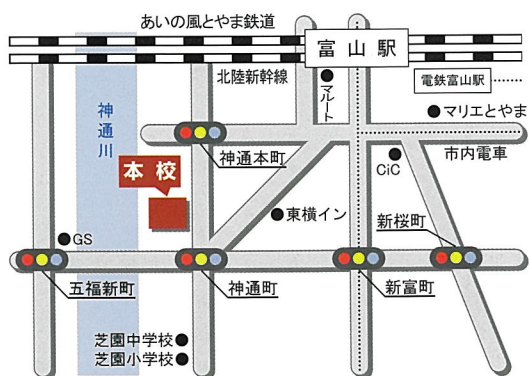
碧に澄める神通の
流れを汲みて学舎の
道にいそしむ我が友ぞ

二、夕べ月影ゆらめけば

久遠の自由を求めつゝ
明日日本を荷はんと
勢ふ剛毅の意気見ずや

三、前途の浪路荒るゝとも

希望の星は輝けり
堅忍持久一すぢに
雄々しく行かん手を取りて



富山県立雄峰高等学校

〒930-0009 富山市神通町二丁目12番20号
 TEL.076-441-4951(代表) FAX.076-443-1695
 URL <http://www.yuho-h.tym.ed.jp/>